

福祉研修オンデマンド化検討事業費

委託費：4,500千円



背景・課題

特に介護業界では、人手不足による業務の多忙化を背景に、事業所や従業員の研修への参加意向の低減や、受講時間が確保できないとの声があり、WEB研修の充実が求められている

事業概要

福祉関係研修の一元的な窓口である福祉総合研修センターの研修について、オンデマンド化を図るとともに、様々な機能を持たせた、オンデマンド研修動画のプラットフォームを作成することを旨とし、オンデマンド化する研修の整理や、プラットフォームの機能等の検討・準備を実施

受講者や事業者の利便性を向上することで、研修参加への意欲を向上し、介護職員の質の向上を図る

業界団体とも丁寧に調整し、独りよがりな移行にならないよう工夫



現行の研修は主に参集型



オンデマンド型を目指す

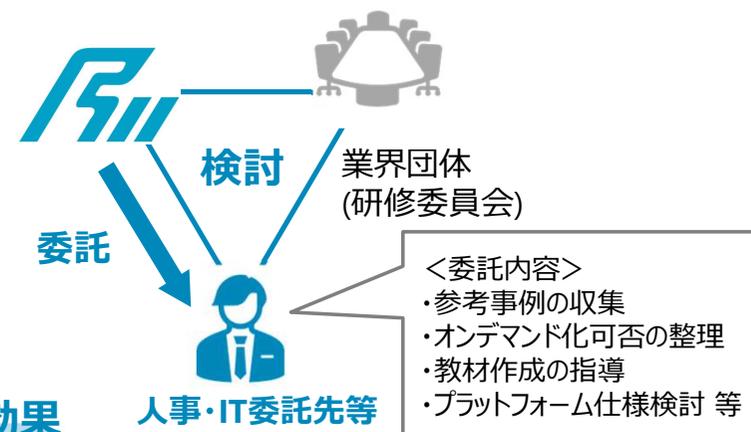


プラットフォームでさらに便利に

- ・会場に行くのも手間だし、時間の融通が利かないから気軽に受けられない…
- ・都合が悪くても受けないと資格更新されない研修も…

- ・移動は不要、スキマ時間に分割して、何度も視聴可能
- ・小テスト等で知識習得を担保
- ➔ 不便さを解消しつつ、研修の効果を維持

- ・関連研修の提示でさらなる研修受講のきっかけに
- ・システムで受講管理可能
- ・法人ごとに独自に研修パッケージを設定可能



利便性だけでなく、行政コスト削減(会場使用料、業務量)や感染症対策にも効果

委託業務概要

R8年度予算要求(9月)
→各課オンデマンド化予算要求のため整理完了必須



 プロポーザルにより、委託先を選定
県・研修センター

- 各研修でオンデマンド化できる部分や課題を整理
- 研修委員への説明
- 研修委員への説明 (引き続き)
- オンデマンド教材の作成

 委託先

- 各研修でオンデマンド化できる部分や課題を整理
- 判定結果レポート作成 (第一段階)
- オンデマンド化に対する課題の解決策の考案
- 削減費用の計算
- 研修委員の説明の補助 等
- 最終判定結果レポート作成 (第二段階)
- オンデマンド教材の作成マニュアルの作成
- オンデマンド教材作成のアドバイス(適宜)
- プラットフォーム化の検討

○オンデマンド化の流れ

①オンデマンド化の検討 (第一段階) R7.8末までに

→研修担当課及び研修センターとの打ち合わせ行い、オンデマンド化できそう部分、課題を整理。



②オンデマンド化の検討 (第二段階) R8.3末までに

→第一の判定結果をもとに、研修企画委員や研修講師等と調整を行い、可能な限りオンデマンド化移行への上承を得ること。



→上記の調整の結果を踏まえ、最終的なオンデマンド化の可否を判定すること。